

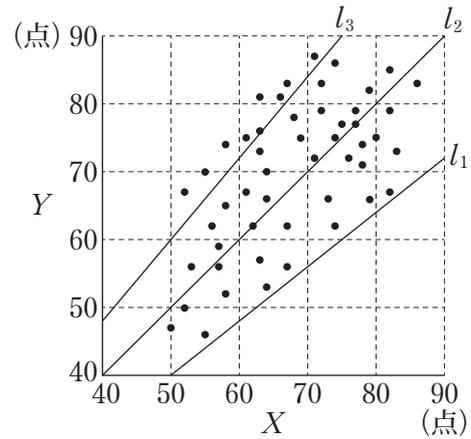
# 数 学

# 数 学

分数形で解答が求められているときは、既約分数で答えよ。符号は分子につけ、分母につけてはならない。また、根号を含む形で解答する場合、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。

## 第1問 次の問いに答えよ。

- (1) 右の図は、高校3年生50人に国語のテストを2回行ったときの得点の結果を、1回目の得点を $X$ 、2回目の得点を $Y$ として、散布図に表したものである。



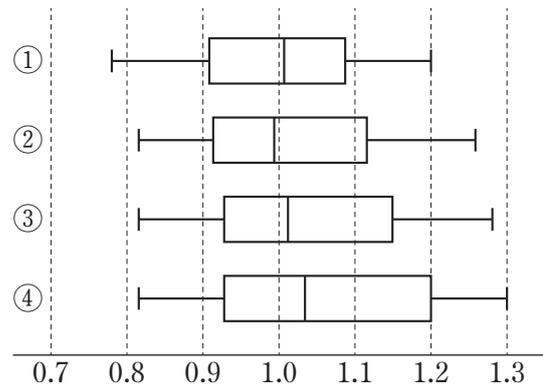
この散布図から、2回のテストがともに70点以上であった生徒は **アイ** 人いることがわかる。

また、散布図にかき入れている3本の直線 $l_1$ 、 $l_2$ 、 $l_3$ は、横軸を $x$ 軸、縦軸を $y$ 軸としてこの散布図を座標平面とみたとき、原点 $(0, 0)$ を通り、傾きがそれぞれ0.8、1、1.2の直線を表している。

いま、 $\frac{Y}{X}$ の値を变量 $Z$ とすると、 $Z$ の箱ひげ図として最も適切であるものは

**ウ** である。

**ウ** に当てはまるものを、右の図の①~④の中から1つ選び、その番号を答えよ。



(2)  $a$  を定数とし、関数  $y = x^2 - ax + a - 3$  のグラフを  $C$  とする。

(i)  $C$  の頂点が直線  $y = x - 5$  上にあるとき、 $a =$  、 である。

(ii)  $C$  が  $0 \leq x \leq 2$  の範囲で  $x$  軸より下方にあるような  $a$  の値の範囲は、

$< a <$   である。

(3) 座標平面上に 2 点  $A(0, 2)$ 、 $B(4, 0)$  および点  $P(X, Y)$  があり、 $PA^2 + PB^2 = 12$  を満たしている。このとき、点  $P$  の軌跡は

点 (, ) を中心とする半径  の円

である。

また、点  $P$  の座標  $(X, Y)$  において、 $3X - 4Y$  のとり得る値の最大値は  である。

(4)  $t$  を  $0 < t < 2$  を満たす定数とする。放物線  $y = x(x - t)$  と  $x$  軸および直線  $x = 2$  で囲まれた 2 つの部分の面積の和を  $S$  とすると

$$S = \frac{1}{\text{ス}} (t^3 - \text{セ} t + \text{ソ})$$

である。

$S$  を  $t$  の関数とみると、 $S$  は  $t = \sqrt{\text{タ}}$  のとき最小値  $\frac{\text{チ} - \text{ツ} \sqrt{\text{テ}}}{\text{ト}}$

をとる。

**第2問** 赤玉2個，青玉3個，白玉4個，合計9個の玉がある。次の問いに答えよ。

(1) この9個の玉を横1列に並べる。同じ色の玉は区別しないものとするとき，異なる並べ方は全部で  通りある。

このうち，青玉3個がいずれも隣り合わないような並べ方は  通りある。

(2) 袋と箱を1つずつ用意し，この9個の玉を，袋または箱のいずれかに入れる。同じ色の玉は区別しないものとし，袋にも箱にも玉を1個以上入れるものとするとき，異なる玉の入れ方は  通りある。

(3) 事象  $X$  が起こる確率を  $P(X)$ ，事象  $X$  が起こったときの事象  $Y$  が起こる条件付き確率を  $P_X(Y)$  と表すとする。

9個の玉を1つの袋に入れ，この中から玉を3個同時に取り出す。このとき，取り出した3個の玉の中に赤玉が含まれているという事象を  $A$ ，取り出した3個の玉の中に白玉が2個だけ含まれているという事象を  $B$  とすると

$$P(A) = \frac{\text{コ}}{\text{サシ}}, \quad P_A(B) = \frac{\text{スセ}}{\text{ソタ}}$$

である。

また， $P_A(B)$  と  $P_B(A)$  の大小関係は

$$P_A(B) \text{  } P_B(A)$$

である。

に当てはまるものを，次の①～③の中から1つ選び，その番号を答えよ。

- ①  $>$                       ②  $<$                       ③  $=$

**第3問**  $a, b$  を実数として,  $x$  の3次式  $f(x)$  を,  $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + 20$  とする。  
次の問いに答えよ。

(1)  $a = -10, b = 6$  のとき, 方程式  $f(x) = 0$  の解は

$$x = \boxed{\text{ア}}, \boxed{\text{イ}} \pm \sqrt{\boxed{\text{ウエ}}}$$

である。

(2) 方程式  $f(x) = 0$  が実数解  $-5$  と2つの虚数解  $\alpha, \beta$  をもつとする。

(i)  $b = 5a - \boxed{\text{オカ}}$  であり

$$f(x) = (x + 5)\{x^2 + (a - \boxed{\text{キ}})x + \boxed{\text{ク}}\}$$

と表される。

したがって,  $f(x) = 0$  が2つの虚数解をもつような  $a$  のとり得る値の範囲は

$$\boxed{\text{ケ}} < a < \boxed{\text{コ}}$$

である。

(ii)  $\alpha, \beta$  が  $\alpha^2 + \beta^2 = 2(\alpha + \beta)$  を満たすとき

$$a = \boxed{\text{サ}}, b = \boxed{\text{シス}}$$

である。

このとき

$$\alpha^5 + \alpha^4 + \alpha^3 + \alpha^2 + \alpha + 1 = \boxed{\text{セソタ}} \pm \boxed{\text{チ}} \sqrt{\boxed{\text{ツ}}} i$$

である。ただし,  $i$  は虚数単位とする。

(数学の問題は終わり)